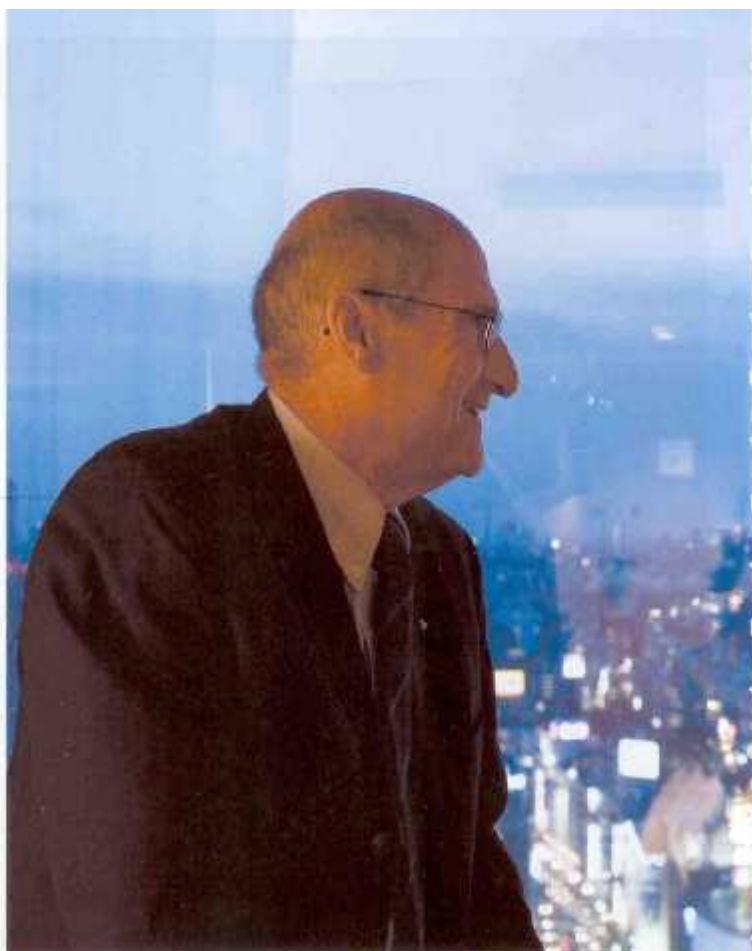


Gérald Dubois

ジェラルド・デュボア
【デュボア・デブラ社社長】

クロノグラフは
読み取りやすさが大切。
君があの時計に、
60分計を積んだことが
成功の理由だよ



ジェラルド・デュボア氏。1928年生まれ。デュボア・デブラはふたつの特許職の交差点で創業されたが、現在はデュボアのみで創業。ジェラルド氏は2度目の再婚。55歳。1男1女がおり、長男が長男。

限定版のフクロウ・ダイアルも近年上げに自負しました。道が短いのはトリス製作に時間がかかり、前編が読めないことですよ。(ビエールさん)

まさに嬉しいですね。それはビエールドゥロ・ロッシのメカニズムの能力と価格のバランスが使われているからだろう。「それに孫々が受け継がれたのは、他のブランドが使わない珍しいムーブメントを搭載していたからでしょう。しかも、それはひとつのダイアルの時、分、秒まで測れるのです。(ビエールさん)

ここでピンと話を聞いていたジェネラル本さんが、こう話し出した。

「やはりクロノグラフは、経過時間が読み取りやすくなければね。だから時計計を60分にしたことが重要なのです。またデュボアは創業105年の会社で、時計は別のものも持っています。これも強みです。ただ、勘違いしないでほしいのは、ビエールドゥロ・ロッシとデュボア・デブラは別会社だということ。カクローを長けてください。(デュボア・デブラのムーブメントを引用) とあるでしょう。(ビエールさん)

「日本人は、どの国よりも時計に詳しい人たちです。したがって僕々が60分時計を作る前も込んだ意味や、リキエとフロッギヤードが直接に暮らすことの理由を理解し、理解してくれたい。しかし他の国はデザインが気に入ればそれでいい」ということが多いですね。(ビエールさん)

「わずか2年ほど前、ここまでの人気を獲得したビエールドゥロ・ロッシ・デュボアはここに何がおおろしているのか。すでに単年のパワースタイルが前の中にはありませんが、決して新しい時計を作るつもりはなく、むしろはトリコラードの刻を大きく含むことで、また、文字盤が薄く、ムーブメントが見えるような時計もよいですね。それは、ニスのオートマチックのオートマチックでなく、完全にムーブメントを見せるもの。あとムーブメントはデュボア・デブラと共同開発をしていますが、我々は紹介できると思います。ただ、ビエールドゥロ・ロッシというブランドを長期的に守るには、複雑時計ではなく、短い感度のいい時計を求めようと思っています。この基本コンセプトを守り、そこに収まるように喜んでいくことです。たとえば本丸カレンダー。これは何れともわかれませんが、トリエール・デュボアはあり得ません。

もうひとつ重要なのは、今お知らせする。今後はスプリットタイムのペース・ムーブメントを新しくしたいと思っています。すでに現在のムーブメントでは、機能を提供するにも影響を及ぼす世界があるのです。それが、今までの私のプロジェクトです。(ビエールさん)



Pierre Dubois

ピエール・デュボア
[ピエール・ドゥ・ロッシュ社長]

トゥールピヨンは
作りません。
基本コンセプトを守り、
着実に進むこと
それが大切です

ピエール・デュボアさん。1959年、ジュネーブの出身として生まれ、大学卒業後、銀行を経てオーデマ・ピゲに入社。勤務歴が14年弱の経験の後、職責として2009年、ジュネーブのピエール・デュボア社に就任。

interview 時計人インタビュー⑤

Photo: Toshiaki Okuda
Interviewer: Masaharu Nishida

「音楽ブーム」手ごたえの時に、父の家で聞いた人脈を持つピエール・デュボア、ロッシェ、その代表ピエール・デュボアさん。彼の父で、オーデマ・ピゲ、モイブアイ専門会社、デュボア・アマントの社長、ジュネーブ、デュボアさんが家目。早く渡米した。未だの目的と手紙の慣習を伺った。

「今後は、私の時計を扱う店舗を助ね、セーラスの方を、お客様から直接、話を聞くのが目的です。先にしる情報店が功もある。他にはありませんから、私から話したいと思えます。もう一つは、父ジュネーブとお客様が語る。機軸を持つこと。これまでにいろいろな種類の取材を受けましたが、日本ではブランドの

背後にある歴史に非常に興味を持ちました。それと、その文章に出るから思うので、その「ピエールさん」。

彼の言とおき、欧州の記者は時計より、歴史に興味があることが多い。しかし日本人は時計と同様にメーカーの歴史にも興味を持ちます。ましてジュネーブ、ロッシェの歴史が、歴史、スイス時計業界を支えてきたデュボア・アマントなら、歴史に語りたいたいと思うのは当然。だが、ここでデュボアの歴史を語るには時間が足りないので、時計に話を切り替えます。